

	異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>・目視観察の結果、工事に伴う異常は確認されなかった。</p>		
水質調査結果	<p>・基準値が7mg/Lに設定されているSt.1では、調査期間中のSS値は基準値を下回った。</p>		
	<p>・基準値が11mg/Lに設定されている調査地点(全17地点)では、St.15、St.16、St.17、St.Aの4地点を除く他の調査地点で調査期間中のSS値は基準値を下回った。</p>		
	<p>・基準値を超えた観測の回数: St.15 = 7回、St.16 = 14回、St.17 = 15回、St.A = 7回</p>	<p>・基準値を超えた観測日において、打設場所近傍のSt.11、13、14、18、19では基準値を超える値は観測されていない。St.15は、流入水路部からの濁水の流入と低潮位などによる底質の巻上げによる影響が考えられる。St.16～17は流入水路部からの濁水の流入が影響していると考えられる。</p>	
	<p>・St.15では、基準値(SS11mg/L)を超える値が、9～11日午前、14、15日午後、25日午前、28日後に観測された。 ・St.15は低潮位時において、相対的高い値のSSを示す傾向が見られた。</p>	<p>・打設の有無にかかわらず濁りが観測されていること、調査時刻が低潮位の時間帯と重なっていることなどから、波浪による底質の巻上げや降雨、濁水の流入などが影響していると考えられる。</p>	
	<p>・9日午前St.16、午後St.16、St.17、St.A、10日午前St.16、午後St.17、11日午前St.16、St.17、St.A、午後St.16、St.17で基準値を超える濁りが観測された。</p>	<p>・降雨による濁水の流入が影響しているものと考えられる。</p>	
	<p>・12日午後St.16、St.17、St.A、13日午後St.17、14日午後St.17、18日午後St.17、22日午後St.16で基準値を超える濁りが観測された。</p>	<p>・濁りは打設の有無にかかわらず観測されているため、濁水の流入によるものと考えられる。</p>	
	<p>・21日午後St.Aにおいて基準値を超える濁りが観測された。</p>	<p>・当日は杭の打設が行われているが、打設場所近傍では濁りが観測されていないため、降雨による濁水の流入が影響しているものと考えられる。</p>	
	<p>・24日午後St.16、St.17、St.A、25日午前St.16、St.17、St.A、午後St.16、St.17で基準値を超える濁りが観測された。</p>	<p>・降雨による濁水の流入が影響しているものと考えられる。</p>	
生物監視調査	<p>・9月調査により確認されたオキナリヤラガニの確認個体数 St.A = 101個体 St.B = 164個体</p>		
	<p>・杭の打設日: 1, 2, 3, 7, 8, 13, 14, 15, 16, 17, 21, 22, 24, 30日(合計14日)</p> <p>・4～6日: 台風18号接近による工事の休止 ・4日: 台風18号接近による海上調査地点の作業休止 ・5、6日: 台風18号接近による調査の休止 ・10日: 工事は資材の搬入などが行われていた ・10日: 強風により午後の海上調査地点の作業休止 ・25～28日: 台風21号接近による工事の休止 ・25日: 台風21号接近による海上調査地点の午後の作業休止 ・26日: 台風21号接近による調査の休止 ・27、28日: 台風21号接近による海上調査地点の作業休止</p>		